



37

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年1月17日号

編集 / 毎日新聞社販売局D.クリエイションセンター



五輪開幕半年前「Moment」「TOKYOスイッチ」

20日(水)から=総合面など

新型コロナウイルスの影響で延期された東京オリンピックは23日で開幕まで半年となります。開催に向けた準備が進められていますが、国内外で感染は再拡大しており、スポーツ界も日常

を取り戻せていません。感染対策を徹底し、開催にたどり着けるのか。連載「Moment」で情勢を多角的に検証し、続く連載「TOKYOスイッチ」で混乱する現場に迫ります。



緊急事態宣言に従わない心理とは

22日(金)=くらしナビ面

新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、首都圏などで、再び緊急事態宣言が出されています。これまで、感染者数が過去最多を更新し続けても、菅義偉首相や小池百合子・東京都知事らが予防徹底

を求めても、街に出る人は大きくは減っていませんでした。「自粛」の呼びかけは、私たちになぜ響きにくいのでしょうか。心療内科医の海原純子さん=写真=にその心理を聞きました。



特集 ワイド

衆院選予想 選挙プランナー三浦博史さんに聞く

18日(月)

|| 夕刊特集ワイド

衆院議員の任期は今年10月21日。菅義偉政権が発足した昨秋以来、永田町でくすぶり続けていた「解散・総選挙」の行方は、新型コロナウイルスの感染拡大などによって不透明感を増しています。リミットが迫る中、政界に太いパイプを持つ選挙プランナーの三浦博史さん、(69) || 写真 || にインタビューし、衆院解散のタイミングや各党の獲得議席数、投票率などについて解説してもらいました。



論点

「核兵器禁止条約 発効」 22日(金)=オピニオン面

核兵器禁止条約が22日に発効します。核兵器を非人道兵器として法的に禁じており、核保有国に核軍縮を迫る圧力になると期待されています。しかし日本政府は米国の「核の傘」に依存することを

前提に、条約を批准しない方針です。唯一の戦争被爆国である日本は核廃絶に向けてどう行動すべきでしょうか。被爆者のサーロー節子さん=写真=と、外相経験者らが論じます。



竹橋の 窓から

編集後記

みなさま、今年のお正月はどのように過ごされましたか。このご時世なので、私は年末から年始にかけて、全国高校駅伝、全国高校ラグビー、ニューイヤークラッシュと我が社の主催・後援事業をテレビやネットで見て過ごしました。

これからは毎日新聞社の最大のイベントであるセンバツ高校野球の季節になります。29日に出場校が決定してから約2カ月半ほど、毎日新聞はセンバツをどこよりも熱く紙面でお届けします。夢の舞台にどんな高校が出場し、熱戦を繰り広げるのか。今から楽しみます。(高橋将平)